

## 令和5年度 努力点推進計画

## 1 テーマ

## 学ぶ意欲をもち続けることができる宮前っ子の育成

～仲間とともに みんなで伸びよう～

## 2 テーマについて

本校では、一昨年度、分からない問題に直面したときに、考えることを諦めてしまうのではなく、最後まで、「できるようになろう」「分かるようになる」と学ぶ意欲をもち続けることができる子どもの育成を目指し、ICT機器を活用した授業実践を積み重ねてきた。具体的には、タブレット端末の学習アプリである「ロイロノート」や「スカイメニュー」の共有機能の活用を中心とした実践が多く行われた。その結果、分からない問題に直面した場合でも、ヒント機能を使ったり、友達に聞いたりすることが子どもの学習意欲の持続に効果的に働くことが分かってきた。

昨年度は、子ども一人一人に、学習課題や学習方法などを選択させ、個に応じた指導をすることで、個別最適な学びを実現し、その過程を経ることで、子どもの学ぶ意欲を持続させることを目指した。その結果、子どもが自ら思考ツールを選択したり、技能を高めるために試行錯誤したりする主体的に学習に取り組む姿が見られた。

一方、中央教育審議会答申による「令和の日本型学校教育の構築を目指して」（2021）では、「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、子ども同士の探究的な学習や学び合いなどの「協働的な学び」を充実させることが重要であるとしている。また、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が提言されている。

そこで、本年度は、昨年度の「個別最適な学び」を生かし、「協働的な学び」に焦点を当てた実践に取り組んでいくことにする。相談したり、協力したり、教え合ったりする、「学び合い」を通して、子どもの学ぶ意欲が持続する授業実践を目指していきたい。

## 3 目指す児童像

- 令和4年度→自ら学習方法の選択や課題の設定をすることで、学ぶ意欲をもち続ける児童

## 【個別最適な学び】

- 令和5年度→友達と情報を交換したり、共有したりして、対話的な活動をすることで、学ぶ意欲をもち続ける児童 【協働的な学び】



